

グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No. 43・44 合併号 2018. 8

発行:NPO法人
みどりの市民
〒380-8553 長野市若
里 4-17-1 信州大学
工学部 UFO ながの
高木研究室内
発行人:高木直樹

平成 30 年度総会開催 ～事務所移転・新しいみどりの市民動き出す～

平成 30 年度はみどりの市民が活動を始めて 16 年目に入りました。5 月 12 月日 (土) 長野市ふれあい福祉センターで、「NPO 法人 みどりの市民」の総会が開催され、29 年度事業報告・30 年度事業計画等の他 3 つの重要案件、役員改選、規約改定、又事務所の移転のいずれも承認されました。

○29年度の活動～厳しい財政状況のもとで新たな環境活動の展開～

委託業務が一つ減り、年度当初は財政的に厳しい状況が予想され、環境NPOとしてどれだけ活動ができるか懸念されました。しかし、長野市生活環境課からの生ごみ減量アドバイザーの育成及び派遣等の事業を引き続き受託することができ、又、他の助成金を活用するなどして、「食品ロス」、「マイクロ・プラスチックの問題」、「エシカル消費」等の新たな環境活動を地域に発信ができました。又、若い世代が、みどり農園やエシカル等の活動を通じて「みどりの市民」に参加しています。(活動報告、決算報告はHPをご覧ください。)

○30年度の活動計画～今できることから一つひとつ～

年度当初の3か月は事務所移転という大きな事業があり、それに伴う住所・電話・IT関連の変更など事務処理作業に追われながら活動を進めています。

昨年度に続いての長野市からの生ごみの委託事業及び独自事業の「どんぐり・るるネット」の開始、又県の環境学習支援事業「信州環境カレッジ」への応募「エコアクティブ塾」「エコサロン」が動き出しています。

○役員改選～新体制で～

今年役員改選の年で、任期満了に伴う小山勝宏氏 清水久美子氏、橋本淳氏 3名の辞任により、理事は7名となり監事、顧問を含め計9名の体制で進めていきます。(新役員は別表)

新役員

代表理事:高木 直樹氏
副代表理事:渡辺ヒデ子氏
(事務局長兼務)
理事:田中 守 氏
:馬嶋 通 氏
:浜田 崇 氏
:渡辺 隆一 氏
:山口 吉久 氏
監事:鈴木 克幸 氏
顧問:弓 場 法 氏

○事務所移転 ～活動の継続のために～

みどりの市民の総予算に占める管理費の負担軽減を図り今後の活動継続のために、10年間にわたりみどりの市民の活動拠点であった長野県食糧会館から信州大学工学部キャンパスへ移転しました。移転先は、高木代表の提案で工学部 UFO ながの高木研究室内に承認されました。経費はほぼ3分の1から4分の1に削減できる予定です。(事務局長 渡辺ヒデ子)



～UFOに引っ越ししました～

信大工学部キャンパス内の東側に建つ、UFO(ユーホー)ながの こと長野市ものづくり支援センターは、産学行連携の拠点施設としてその活用が期待されているのだそうです。この4階の一室(セキュリティー完備、飯縄山遠望!)が新しい事務局となりました。一步外に出ると行き交う若い人たちに混じって学生気分を味わい、でも犬と散歩する近所の人も見受けられ、これからキャンパスに立ち並ぶ銀杏の木々が色づくとなら誰でもギンナン拾いができるということです。緑あふれる環境に引っ越したみどりの市民です。お立ち寄りください。(事務局スタッフ 塚田)

地域の資源循環を目指して「どんぐり・るるネット」 試運転開始！！

★「どんぐり・るるネット」のきっかけ

「どんぐり・るるネット～生ごみ・淡竹・野菜をつなぐネットワーク～」(略称るるネット)は、昨年9月に開催した「生ごみ減量アドバイザーの例会」での「段ボール堆肥を広めごみ減量につなげたい」という強い思いからはじまりました。

★「どんぐり・るるネット」概要固まる

何回かのスタッフミーティングを重ね、ようやく 生ごみ・淡竹・野菜(ケチャップ)をつなぐネットワーク「どんぐり・るるネット」の概要が固まりました。回収は、トラックがあるので手を挙げてくれた西山淡竹会のメンバーでもある松橋さん。堆肥化した生ごみを搬入する農地は、スタッフのつながりで障害者施設「モーリー農場」の畑。肝心の生ごみを堆肥化する会員は、まず、スタッフや生ごみ減量アドバイザーに依頼することにしました。

★運営システムは

会員は年会費 1000 円を負担し、生ごみを段ボール堆肥で堆肥化を実践、堆肥化した生ごみを「るるネット」に提供、「るるネット」からは竹チップ・パウダー(西山淡竹会提供)とケチャップ(モーリー農場産)が会員に還元。生ごみ堆肥は月毎に会員宅まで回収に行き、畑へ搬入する。



★回収始まる

松橋さんやスタッフの強い思いにより、とにかく実践しようと5月13日より事業を開始。まず、会員の家を回り、段ボール堆肥による一次生成物をトラックに回収、空いた段ボール箱へ竹チップと竹パウダーを入れて、5カ所を回り、徳間にあるモーリー農場へ。7月までの合計3回で33箱を回収しました。会員からは、「新しい基材がもらえ、生ごみの堆肥化が上手くいく」「回収に来てくれるので助かる」等が寄せられています。

★課題 とこれから

この事業のきっかけは、「処理に困っている人がいるから」でした。しかし、今年度中に会員数30名を目指していますが、4月以来会員数は10名で増えていないのが現状です。実際に困っている人はいるのかという検証とるるネットの周知をして会員の掘り起こしをしていきたい。この事業は異分野の3つの団体による協働事業です。ごみ減量だけでなく環境・障害者支援・地域づくりによる地域の資源循環につながるという事業の趣旨を多くの市民に理解してもらい、事業として成り立つように願っています。(渡辺)

「エコアクティブ塾」実施レポート

(信州環境カレッジに登録講座)

～今年も3つの塾を開催 大盛況 参加者スタッフ合わせて74名～

1. 川の生き物見つけ隊



8月1日(水) コムラサキの森(安茂里犀川河川敷)
連日の猛暑日で又台風の接近などの情報もあり、川の状況、熱中症などの心配がありましたが、親子合計27名の参加者は、暑さを忘れて河原での「生き物見つけ」を満喫。講師から、川の中の生物はどのように巣をつくっているのかを教えられ、又捕まえた魚を見せてもらい、普段はなかなか体験できない川の中の生き物たちを見つけ、自然を身近に感じました。

【講師から】 水量が少なく、浅瀬が広く、安全に出来たことが何よりでした。例年よりも生き物の型が小さかったり、種類が少なかったりでしたが、参加者には、喜んでもらえたようです。(清水)

トビゲラ類・カゲロウ類・コオニヤンマ幼虫・サワガニ・エビ等、魚ではヤマメの稚魚が見つかる。昨年は外来魚が数匹見つかったが今年はまったく見つからなかった。(田中)

2. 体験！街も地球もどうして暑い？

8月2日(木) 長野県環境保全協会会議室 及び新田町交差点付近
参加者10名

「街も地球もどうしてこんなに暑いのだろう」と子どもたちに、体験を通して温暖化を感じ考えてもらうために毎年開催している講座です。

- ①氷・水・お湯の温度を自分の体で感じ放射温度計により実際の温度を確認
- ②街に出て温暖化の体験：コンクリート道路上、川、花や木の植物、白黒などの各車体の色の違いによる温度の測定
- ③「触れる地球」を使って地球の温暖化についてお話



分かったこと (参加した子どもたちの振り返りシートより)

- ・物によって温度が違う。一番温度が大きいのは黒い車 79℃
- ・コンクリートが熱くて、白より黒の方が熱い
- ・色によっても温度が変わる ・地球温暖化が進んでいるから対策が必要
- ・水でも日なただと熱いことがわかった ・自然のものは温度が低い

感想

- ・物の温度が知れてよかった
- ・温度を測るのがたのしかった ・いろいろな温度がわかってよかったからいい体験になった
- ・自分も地球温暖化の対策をしたい ・違いがわかってたのしかった



3. 太陽の熱で美味しいカレーを作ろう

8月9日(木) 信州大学工学部構内 参加者は26人

台風の影響により実施できるかどうか心配だったが、晴れ間が見え、太陽熱利用によるソーラークッカーの仕組みを説明することができた。実際にはカセットコンロでカレーを煮てしまいましたが、天候に左右されることも、自然エネルギーの学びの場となりました。

講師の高木先生より自然エネルギー・温暖化についてのお話を聞き、カレーを煮ている間に、建築科の屋上に上がり太陽光発電と風力発電機と工学部構内の太陽光発電の状況を見学。お昼は、生協の食堂を借りて、できあがったカレーを美味しくいただきました。



分かったこと (参加した子どもたちの振り返りシートより)

- ・太陽熱でカレーが作れる ・ソーラークッカーが200度になるとは思わなかった
- ・太陽、風がエネルギーになる ・太陽光パネルのことが良く分かった
- ・太陽だけでなく、風も強力なエネルギーになるということ

感想

- ・太陽熱でちゃんとおいしいカレーが作れたのでびっくり。おいしかったです
- ・太陽にそんなすごい力があるんだと思いました ・カレー作りが楽しかった。またやりたい
- ・年々温暖化が進んでいくので太陽の力をエネルギーに変えて有効利用してほしい
- ・エコはすごい!と思いました。 ・太陽がもっと出ていたらよかったが親子での体験はよかった



“平成30年度みどり農園の活動状況”

今年は金井山から川田の地に引っ越しました。(川田農園元年!?) 耕作面積が2/3程度になり、みどり農園としての全体の取り組みに特化(個人の菜園はやらない)して今年度の活動をスタート。細部は「みどり農園30年度計画」を基本としていますが、以下の通りの実績です。(活動は土曜日を主)

- ① 3/24に土の耕しを行い作付けの準備に入りました。
- ② 4/21日にジャガイモとモロコシの種まきを行いました。
- ③ 6/9に大豆の種まき(全体の4/5)と薩摩芋の苗植え(10本)及び草取りをしました。
- ④ 6/30に大豆の土寄せと草取りを行いました。
- ⑤ 7/16(月・祭)モロコシの収穫と臨時の草取りを合わせて行いました。
- ⑥ 8/4にジャガイモ掘りと草取りを行いました。



4月21日種まき

このほかに「ポップコーン」用モロコシを若干蒔き、8/25に収穫しました。
また、合間に草がひどいため鎌で草刈りもしました。

今後の予定は10/13の大豆刈り取り・薩摩芋掘りと11/10の大豆脱穀・焼き芋大会です。初めての場所で土の特性もわからないまま進めてきましたが、現在大豆の生育状況は”ほぼほぼ”順調かと思えます。
(この暑さで大根の芽が出ません!!!薩摩芋は3本枯れましたが残りは元気に蔓を伸ばしています)

残された活動への皆様のご参加お待ちしております。(理事 山口吉久)

お知らせコーナー

どんぐり・るるネット

会員募集

生ごみ・竹(淡竹)・野菜(ケチャップのWA【循環】

会員は段ボール堆肥の実践をして、ケチャップと淡竹の水煮をゲットしましょう。

生ごみの一次生成物は自宅まで回収に。

新しい基材(竹チップ・パウダー)を提供。

だから、キッチンも段ボールの中も

いつもさわやか!

みどりの市民と西山淡竹会とモーリー農場が手を結びました。

年会費 1000円

(入会はいつでも可 詳細はみどりの市民へ)

【みどりの市民 9月~12月行事予定】

10月9日(火) 第3回理事会

10月13日(土) みどり農園大豆収穫

10月23日(火) エコサロン4回目

10月28日(日) 環境子どもサミット出展

11月10日(土) みどり農園大豆脱穀

11月13日(火) P会議 SDGS 学習会

12月4日(火) 生ごみアドバイザー研修会

12月14日(金) エコサロン5回目

12月15日(土) P会議環境団体大集合

★FMぜんこうじ コトコトの省エネ学級

毎月第4水曜日 8:40~50

9月27日、10月24日、11月28日、12月26日

ホームページ 7月よりリニューアル

<http://midorinoc.sub.jp/>

〒380-8553 長野市若里 4-17-1 信州大学工学部

UFO ながの高木研究室内

TEL&FAX 026-269-5092

E-mail midorit18@shinshu-u.ac.jp

URL <http://midorinoc.sub.jp/>



《編集後記》

前回の発行は1月あれから8カ月、年度切り替え、事務所移転、観測史上初の命の危険の暑さの夏、その間NPOとしての事業展開、いろいろありました。ようやく、ニュースレターの発行。若い学生に囲まれもう少し頑張ります。新事務所へお出かけください。お待ちしております。(渡辺)